

# \* \* イ カ ナ ゴ 情 報 No. 2 \* \*

## — 島牧・寿都における初漁の漁獲物を測定 —

中央水産試験場  
後志南部地区水産技術普及指導所

### 主群の適正サイズ（22～23mm）到達は5月2～3日頃

#### 調査の概要

2011年4月26～27日に島牧・寿都海域において初漁があり、その漁獲物から採集いただいた標本の測定を行いましたので、結果をお知らせします。関係者の皆様、調査にご協力ありがとうございました。

#### 3月末頃にふ化した群が主体 後続の4月上旬ふ化群も確認

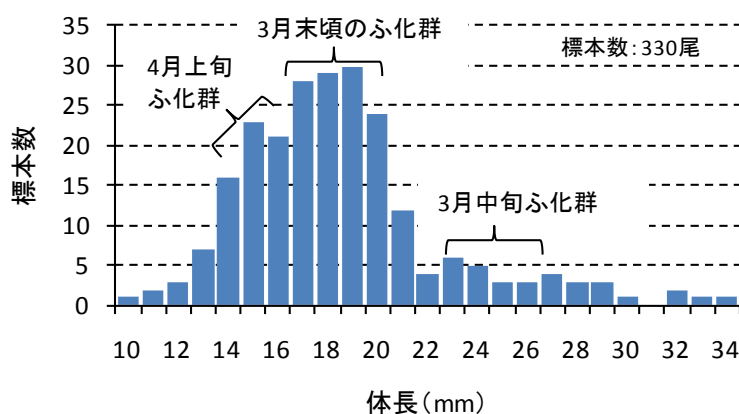


図 初漁（4月26～27日）の漁獲物体長組成（島牧・寿都）

左の図が、島牧、寿都における26～27日の漁獲物体長組成です。数個体の耳石日周輪を確認して、おおよそのふ化時期も把握しました。例年同様、漁獲物はいくつかのふ化群で構成されています。3月中旬にふ化した群は体長24～25mmの手頃な大きさまで成長していますが、初漁の漁獲物に占める割合は小さいようで、主体となったのは、体長17～19mmにある3月末頃にふ化した群、もしくは体長14～15mmにある4月上旬のふ化群でした。

全体的にみると小振りな漁獲物といえますが、これは3月中旬ふ化群の占める割合が小さく、それ以降にふ化した群が主体となっているためであり、魚の成長は今のところ平年並みで推移しています。4月に入ってから水温上昇が停滞気味ですが、このままの成長傾向でいくと、3月末頃のふ化群が適正サイズ（22～23mm）に達するのは、5月2～3日頃と予測されます。後続の4月上旬ふ化群も5月7～9日頃には適正サイズに達し、盛漁期に入っていくのではないかと考えられます。昨年、終盤の漁の主体となった4月中旬ふ化群の状況はまだ判りません。今後の漁獲物組成の推移を注視していきたいと思っておりますので、引き続きご協力よろしくお願ひします。